

九条の会

九条の会奈良事務局
2016年10月11日発行

戦争法反対、改憲阻止へ決意新たに

安倍自公政権により戦争法（安保法制）が強行されて1年の9月19日、全国各地で400カ所を超えて「戦争法は廃止」の集会やデモが行われました。奈良でも地域9条の会主催の集会や学習会が開かれました。

橿原9条の会主催安保法制廃止、立憲主義回復！9・19八木駅前集会



橿原市9条の会11周年記念講演が10月2日、橿原文化会館で石川康弘氏を招いて開催。「貴方と暮らしと憲法と、そして市民運動って」との演題。2010年自民党新綱領が右翼化、その中味と緊急事態条項の危険性にふれ、参議院選挙での市民連合結成その後の野党共闘の成果を評価、改憲派が3分の2を占める状況に対し、衆議院選挙においても野党共闘、市民運動の重要性を強調。今後の活動への勇気と展望を与えるものとなりました。

代表世話人内橋氏の挨拶の後、前参議院議員の前川氏から挨拶、民進党、共産党、社民党、新社会党、市民連合奈良の代表が挨拶、橿原市9条の会の基本方針確認、代表世話人水谷氏の閉会挨拶、畝傍9条の会代表林氏の団結がんばろうの後、デモ行進、110名の参加がありました。



憲法九条の会鹿ノ台校区主催平和のつどい。120名が参加。平和への思い新たに

崎本代表の挨拶の後、女性合唱「コールメイプル」の歌声を披露。イラクの子供たちを救援する活動を続けているジャーナリストの西谷文和さんが「戦火の子供たちに学んだことー最新映像で見るシリア・アフガン戦争」で講演。「なぜ戦争が止められず終わらないのか、それは戦争が儲かるから」と話し、戦争したい安倍政府の勝手にさせないために「諦めない、だまされない、忘れないが大事。野党と連合して頑張れば、きっと風が吹いてくる、粘り強く諦めずに平和の運動を続けてください」と訴えました。

地域九条の会の活動

生駒：2000万署名活動月2回

9.19以降1月から6月まで月2回(3日,15日,14:00から15:00まで)2000万署名を行い、1回にのべ50名程参加、6ヶ月で2000筆集める。創立11周年記念としてシールズ大阪(20歳、女性)、ママの会(子供2人連れて)京大有志の会から参加してもらい講演会を行う。参議院選挙では前川さんを支援。

登美ヶ丘：学園前学・研登美ヶ丘駅で署名

6月30日まで月2回2000万署名の街宣活動を行う。8月30日安保法制反対国会前集会にはカンパを集めて複数参加。

桜井：平和を語る集い開く

三輪平等寺の本堂でピースコンサートを開催、150名程の参加。住職が代表となり、月1回(9日)の街宣、映画会、懇談会等を開催。2013年12月秘密保護法提案で復活、参議院選挙で前川候補懇談会を開く。

生駒鹿の台校区9条の会

11回集会開く。9月4日の平和の集会には120名が参加。自分の住んでいるところから平和の取り組みを進める必要があると考える。

田原本：2000万署名活動、スーパーの入口で(3日,19日)

「9.19,黙っているわけにはいかんで」と昨年12月から活動再開。

ビジョンクラブ：市民連合池本氏、浅野氏を招いて学習会

20歳台、30歳台の人が加入してもらう。テーマを決めて学習会している。浅野さん、池本さんを招いて学習。10月8日14:00から奈良市西部公民館で琉球新聞の新聞記者を招いて学習会を開催。

平城ニュータウン：9月19日憲法カフェを開く

諸富弁護士を招いて「憲法が立憲主義にたつものであり、そのことの重要性といかに基本的人権が保障されているか、それに反し、緊急事態条項が9条を変えていくねらいを持つ危険なものであり、基本的人権などを総理大臣の権限で制限・停止できる内容など」を学習。30名が参加。毎月9日に高の原駅で署名活動。月1回ニュース発行。

橿原：9.19 橿原9条の会主催八木駅前集会

11周年記念講演を石川康宏さんを招いて行う。白橿9条の会はAコープ前で署名活動を行っている。

再開にむけて活動(三郷、斑鳩、西大寺)、共同センターと学習会(大和郡山)、11月3日憲法セミナー開く(香芝)、高田コープ前でピラまき、ニュース発行(葛)

九条の会第6回全国交流討論集会に参加して

「九条の会」奈良事務局担当 北野重一

全国交流討論集会は、9月25日会場明治大学で開かれ、開会の11時には500人が入れるリバティホールは満席になりました。全体集会では呼びかけ人の澤地久枝さんが挨拶。澤地さんは、毎月3日の午後1時に国会正門前へ行って、金子兜太さんが書いた「アベ政治は許さない」という大きなポスターを掲げて立っている、一番力の弱い人たち、声も出すことが出来ないけれど、気持ちとしては憲法を守って再び日本を戦争するような国にはするまいと思っている人たちの運動が広がっている、この運動が広がって安倍政権を退陣させ安倍内閣的な性格をもっている政治家たちがでてこないよう運動を進めていかなければならないと86歳とは思われない張りのある声で力強く言われました。

九条の会事務局長の小森陽一さんから今、戦争法を、第三次安倍政権に使わせない、ギリギリの攻めぎあいの中にいる、そして明文改憲をを絶対にさせない力関係をどうつくっていくか、討論をして欲しいと問題提起。九条の会は、国民総がかりの運動を展開していくうえで新に12人の世話人会を発足すると報告。12人の世話人が紹介されました。12人の世話人の氏名、総会に出席した池田香代子さんら6人の世話人の挨拶を聞き、奈良県においても「九条の会」奈良の世話人会を今日的な九条の会の役割が九条の会県ネットとともに果たせるよう充実をしなければいけないと強く思いました。